

特別支援学級 日常生活の指導学習指導略案

知的障害特別支援学級（はばたき学級2組）

8人（4年生4人、5年生1人、6年生3人）

指導者 小 窪 卓 也

1 題 材 名 朝の会 〜はばたきタイム〜

2 題材の目標

- 自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気付くとともに、基本的な生活習慣や衛生習慣、日常生活や社会生活に関する知識や技能を身に付けることができる。【知識及び技能】
- 自分自身、基本的な生活習慣や衛生習慣、日常生活や社会生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて考え、気付いたことや感じたことを、自分なりの方法で表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 意欲的に自分の身の回りのことに取り組み、身近な人々、社会及び自然に働き掛け、友達と教え合ったり助け合ったりしながら学ぶとともに、それらを実生活に生かそうとすることができる。【学びに向かう力、人間性等】

3 題材で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

問題発見力	これまでの自分の朝の会の様子について振り返り、「自分の問い」を自ら決める力
見 通 す 力	「自分の問い」の解決に向けて、これまでの朝の会での学習や生活の経験を生かしながら、解決方法を考える力
協 働 力	友達と話し合ったり教え合ったりしながら朝の会に参加し、「自分の問い」を解決する力
振り返る力	写真や「朝の会メーター」で自分のがんばりや成長を振り返り、自分の成長を実感し、達成感や成長の喜びを味わう力

4 題材設定の理由

本学級では、毎日1校時に朝の会を設定し、主に特別支援学校小学部の生活科の内容を中心に扱った日常生活の指導を行っている。具体的には、朝の会の会順の中で、挨拶や返事、礼儀作法、時間やきまりを守って行動すること、話す人に注目すること、注意して話を聞くことなどを繰り返し指導するとともに、自然の特徴やよさ、季節による変化などに目を向けて実際に触れ合ったり、司会や当番活動など、自分の役割を果たす経験を積み重ねたりすることができるようにしている。また、会順の中の「はばたきタイム」では、次頁に示した年間の活動例（表1）に沿って、衣服の着脱、整理整頓、洗面、手洗い、歯磨き、食事、清潔など、日常生活に必要な知識や技能を身に付け、習慣化を図ることができるように繰り返し学習できるようにしている。

これまでの学習を通して子供たちは、それらのことをよく理解し、身に付けてきており、学級全体としては元氣よく礼儀正しい挨拶や返事をしたり、司会者や先生の話に集中し、注意して話を聞いたりすることができるようになってきている。しかし、個別に見ると、依然として挨拶や返事ができない子供や、その日の気分や気持ちの変動によって、いつも通りにできない子供も見受けられる。また、別のことや他人のことが気になったり、やり方が分からなくなったりして途中で集中力が途切れてしまい、最後まで集中して話を聞いたり、当番活動に取り組んだりすることが難しい子供も見受けられる。さらに、整理整頓や手洗いなど、学習したことを日常生活の中で実践できない子供も多い。

そこで本題材では、「自分の問い」を明確にして朝の会に臨ませることで、自分の課題の解決に意欲をもって取り組むことができるようにする。また、「自分の問い」を意識し続けられるような手立てを工夫することで、その日の気分や気持ちの変動、周りの状況などに左右されずに、最後まで集中できるようにする。さらに、友達と教え合ったり助け合ったりすることができるように手立てを工夫することで、1人では解決が難しいことでも、友達と協力すると解決できることのよさや喜びを味わうことができるようにする。授業の最後には④学習を振り返る時間を設定し、自分や友達の変容に気付いたり、自分なりの方法で互いのよさやがんばりを伝え合ったりすることで、自分の成長を実感し、日常生活に生かしたいという意欲を高められるようにする。

このような学習を通して、子供たちの自己肯定感や主体的に学ぼうとする意欲が高まり、自立して生活を豊かにしていこうとする資質・能力が育まれていくものと考えている。

5 指導・評価計画（全 70 時間）※ 2 学期

◆…重点評価項目

	主な学習活動（毎時間繰り返す）			
見 通 す・ つ か む	1 前時の学習を振り返る。 2 大切なポイントを確認する。 3 自分が、今日一番気を付けたい大切なポイントを決める。 4 自分の「朝の会メーター」の目盛りの基準を考える。			
	5 朝の会をする。 (1) 始めの挨拶をする。 (2) 朝の挨拶をする。 (3) 健康観察をする。 (4) 今日の天気を知る。 (5) 今日の日付を読む。 (6) 当番活動をする。 (7) 当番活動を振り返る。 (8) 先生の話聞く。 (9) 見るトレーニングと、聞くトレーニングをする。 (10) 「はばたきタイム」をする。 (11) 「はばたきタイム」を振り返る。 (12) 「自分へのアドバイス」を書く。 (13) 終わりの挨拶をする。			
活 動 す る	◆ 自分が選んだ大切なポイントに気を付けながら、朝の会に参加することができる。 【知識・技能：観察・評価カード】			
	6 本時の学習を振り返る。 7 明日の学習を確認する。 8 これからの自分へのアドバイスを考える。			
振 り 返 る				
だ 学 す び 子 供 の 価 値 を 反 映 い				

(表1) 「はばたきタイム」の年間指導計画

月	指導内容	月	指導内容
4月	・仲よくしよう ・学校生活のきまり ・安全な登下校	11月	・身の回りの整理整頓③ ・挨拶 ・学習態度
5月	・当番活動 ・身の回りの整理整頓① ・食事のマナー	12月	・冬の生活 ・火の用心 ・服装
6月	・歯磨き ・服装 ・雨の日の過ごし方	1月	・冬の健康 ・お金の使い方 ・寒さに負けない
7月	・清潔な体 ・プールのきまり ・身の回りの整理整頓②	2月	・寒さに負けない ・体力づくり ・身だしなみ
9月	・挨拶 ・早寝早起き ・集団行動	3月	・お礼の言葉 ・身の回りの整理整頓④ ・交通のきまり
10月	・集団行動 ・友達との遊び ・交通のきまり		

	必要性	自律性	関係性	有用性
主 な 教 師 の 手 立 て	○ 前時までの写真や「自分へのアドバイス」カードを見てこれまでの自分を振り返るとともに、大切なポイントを確認することで、「自分の問い」をもつことができるようにする。	○ 「朝の会メーター」の目盛りの基準を考える時間を設定することで、「自分の問い」の解決方法を確認することができるようにする。	○ 友達と教え合ったり助け合ったりしながら活動できる場を設定することで、友達と協力することのよさや喜びを味わえるようにする。	○ 今日の朝の会の様子の写真を見ながら、「朝の会メーター」を使って今日の自分を数値化し、その根拠を考える場を設定することで、自分の成長を実感し、達成感や成長の喜びを味わえるようにする。
	○ 「朝の会メーター」で今の自分を数値化して確かめることで、「自分の問い」の解決への意欲を高められるようにする。	○ 黒板やリストバンドを見て「自分の問い」を何度も確かめることで、最後まで「自分の問い」を意識し続けながら課題の解決に取り組むことができるようにする。	○ 絵カードや振り返りカード、タブレットPCなどを準備しておくことで、自分なりの方法で自分と友達のよさやがんばりを表現し、伝え合うことができるようにする。	○ 「自分へのアドバイス」カードに、自分へアドバイスしたいメッセージを記入したり、がんばってほしいことに丸印を付けたりすることで、これからの活動や実生活に生かしたいという思いを高められるようにする。

6 本 時(40/70)

(1) 目 標

個人 目 標	A児 (4年)	自分のやるべきことや役割を理解し、それに進んで取り組んだり、時間いっぱい活動したりすることができる。	E児 (5年)	他人のことに気を散らさず、自分のやるべきことに集中して、最後まで取り組むことができる。
	B児 (4年)	自分のやるべきことや役割を理解し、それに進んで取り組んだり、時間いっぱい活動したりすることができる。	F児 (6年)	下級生に目を向け、困っているところを優しい言葉で教えてあげることができる。
	C児 (4年)	友達の様子にも目を向け、優しい言葉掛けをしたり、協力して活動したりすることができる。	G児 (6年)	下級生の様子に気を配り、相手の困り感に応じた必要な手助けができる。
	D児 (4年)	友達の様子にも目を向け、自分から進んで声を掛けたり、協力して活動したりすることができる。	H児 (6年)	下級生に自分から進んで声を掛け、困っているところを教えながら、協力して活動することができる。

(2) 展 開

過程 (分)		主な学習活動と予想される子供の反応		主な教師の手立て(㊟：必要性 ㊠：自律性 ㊡：関係性 ㊢：有用性)	
つか む ・ 見 通 す (10)	活動 する (25)	1 前時の学習を振り返る。 2 大切なポイントを確認する。 3 自分が今日一番気を付けたい大切なポイントを決める。 【「自分の問い」づくりタイム】 昨日は2人の下学年の友達に教えてメーター5だったけど、今日は、優しい言葉で教えることに気を付けて、メーター10を目指すぞ。 4 自分の「朝の会メーター」の目盛りの基準を考える。 【「自分の問い」追究・交流タイム】 優しい言葉で3人以上に教えることができたなら、メーターを10にします。 5 朝の会をする。 (1) 始めの挨拶をする。 (2) 朝の挨拶をする。 (3) 健康観察をする。 (4) 今日の天気を知る。 (5) 今日の日付を読む。 (6) 当番活動をする。 (7) 当番活動を振り返る。 (8) 先生の話聞く。 (9) 見るトレーニングと、聞くトレーニングをする。 (10) 「はばたきタイム」をする。 (11) 「はばたきタイム」を振り返る。 (12) 「自分へのアドバイス」を書く。 (13) 終わりの挨拶をする。		㊟ 前時までの写真や「自分へのアドバイス」カードを見てこれまでの自分を振り返るとともに、大切なポイントを確認することで、「自分の問い」をもつことができるようにする。 ㊟ 「朝の会メーター」で今の自分を数値化して確かめることで、「自分の問い」の解決への意欲を高められるようにする。 ㊠ 「朝の会メーター」の目盛りの基準を考える時間を設定することで、「自分の問い」の解決方法を確認められるようにする。 ㊠ 黒板やリストバンドを見て「自分の問い」を確認められるようにすることで、最後まで「自分の問い」を意識し続けながら活動に取り組むことができるようにする。 ㊠ 「はばたきタイム」では、写真を見ながらたたむ場、動画を見ながらたたむ場、段ボールや厚紙・クリアファイルの補助具を使ってたたむ場、ストップウォッチでタイムを計りながらたたむ場などから自分に合った場を選択して活動する中で、「自分の問い」の解決に取り組めるようにする。 ㊡ 当番活動や「はばたきタイム」で友達と教え合ったり助け合ったりしながら活動するように言葉掛けをすることで、友達と協力することのよさや喜びを味わえるようにする。 (個に応じた具体的手立て) A児 黒板やリストバンドを見ることで、自分のやるべきことや役割を意識し、当番活動などに進んで取り組み、時間いっぱい活動できるようにする。 B児 黒板やリストバンドを見ることで、自分のやるべきことや役割を意識し、当番活動などに進んで取り組み、時間いっぱい活動できるようにする。 C児 あったか言葉を掲示しておくことで、優しい言葉掛けを意識できるようにする。 D児 黒板やリストバンドを見ることで、自分から進んで友達に声を掛けられるようにする。 E児 黒板やリストバンドを見ることで、最後まで自分のことに集中して取り組めるようにする。 F児 あったか言葉を掲示しておくことで、優しい言葉掛けを意識できるようにする。 G児 黒板やリストバンドを見ることで、相手が何に困っているのか考えられるようにする。 H児 下級生とペアを組むことで、自分から進んで声を掛けて協力できるようにする。	
		6 本時の学習を振り返る。 【「自分の問い」振り返りタイム】 自分が守りたい大切なポイントは、守れましたか。メーターで確かめましょう。 今日は、2人の下学年の友達に優しい言葉で教えられたから、メーターは8かな。 7 明日の学習を確認する。 8 これからの自分へのアドバイスを考える。 これからの自分にアドバイスしたいことを、カードに書きましょう。 優しい言葉で教えることを忘れないでね。		◆ 自分が選んだ大切なポイントに気を付けながら、朝の会に参加することができている。 【知識・技能：観察・評価カード】 ㊢ 自分や友達の変容やがんばりに気付き、表情や絵カード、言葉やタブレットPCなど、自分なりの方法で表現し、伝え合うことができるようにする。 ㊢ 今日の朝の会の様子の写真を見ながら、「朝の会メーター」を使って今日の自分を数値化し、その根拠を考えることで、自分の成長を実感し、達成感や成長の喜びを味わえるようにする。 ㊢ 「自分へのアドバイスカード」に、自分にアドバイスしたいメッセージを記入したり、がんばってほしいことに丸印を付けたりすることで、これからの活動や実生活に生かしたいという思いを高められるようにする。	

知的障害特別支援学級 はばたき学級 2 組 日常生活の指導 授業デザインシート

1 題材名 朝の会 ～はばたきタイム～

2 題材で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

問題発見力	これまでの自分の朝の会の様子について振り返り、「自分の問い」を自ら決める力
見 通 す 力	「自分の問い」の解決に向けて、これまでの朝の会での学習や生活の経験を生かしながら、解決方法を考える力
協 働 力	友達と話し合ったり教え合ったりしながら朝の会に参加し、「自分の問い」を解決する力
振り返る力	写真や「朝の会メーター」で自分がんばりや成長を振り返り、自分の成長を実感し、達成感や成長の喜びを味わう力

3 活動の授業デザイン

本活動で育成を目指す資質・能力と特に関わりのある学習活動において以下のような手立てを行い、その有効性を検証しながら授業をデザインすることにした。

	目指す子供の姿	特に関わりのある 教師の手立て	時	子供の反応（●課題 ☆改善点）
問題 発見 力	これまでの学習を想起するとともに、大切なポイントを確認することで、「自分の問い」をもつことができる。	〈必要性を実感する教師の手立て〉 ○ 前時までの学習の様子の写真や、授業の最後に記入した「自分へのアドバイスカード」を見て、これまでの学習を想起できるようにとともに、前時までにみんなで考えてきた「大切なポイント」を確認することで、「自分の問い」をもつことができるようにする。		
見 通 す 力	今までの朝の会の学習や生活の経験を想起し、「朝の会メーター」の目盛りの基準を考え、その基準への意識をもち続けながら、課題解決に取り組むことができる。	〈自律性を実感する教師の手立て〉 ○ 「朝の会メーター」の目盛りの基準を考える時間を設定することで、「自分の問い」の解決方法を確認されることができるようにする。		
協 働 力	友達と教え合ったり助け合ったりすることのよさや喜びを味わうことができる。	〈関係性を実感する教師の手立て〉 ○ 当番活動やはばたきタイムなどに、友達と教え合ったり助け合ったりする場を設定し、協力することのよさや喜びを味わえるようにする。		
振 り 返 る 力	自分の成長を実感し、達成感や成長の喜びを味わうことができる。	〈有用性を実感する教師の手立て〉 ○ 「朝の会メーター」で今日の自分を数値化し、その根拠を考える場を設定することで、達成感や成長の喜びを味わえるようにする。		